

子育てタクシーのサービス



利用するには……

加盟しているタクシー会社に問い合わせ、会員登録を（地域の運行情報などは協会のホームページを参照）。

「かんがるーコース」

通院や健診、買い物など、荷物の多い子連れの外出などに。玄関先まで荷物も運んでくれる。

「ふくろうコース」

急なトラブルや夜間の発熱などにも対応。突然の事態の子どもだけの送迎も可能。

「こうのとりコース」

事前に出産予定日、産院、緊急連絡先などを登録。陣痛が来たらかかりつけの産院へ。※一部の会社では利用できない。

「ひよこコース」

事前に保護者が予約し、子どもの一人での移動を手伝う。送迎後は連絡もくれる。

(社) 全国子育てタクシー協会事務局

TEL : 045-489-3676

(平日 9:00-16:00)

FAX : 045-442-3666

HP : <http://@kosodate-taxi.com/>

さらに、利用者にもサービス券や割引券など行政からの優遇がある。よりサービスを活用しているのでは、と波木井さん。「行政もようやくニーズに気づいて、支援へと動き出しています」。

「ここにもほしい」が原動力に

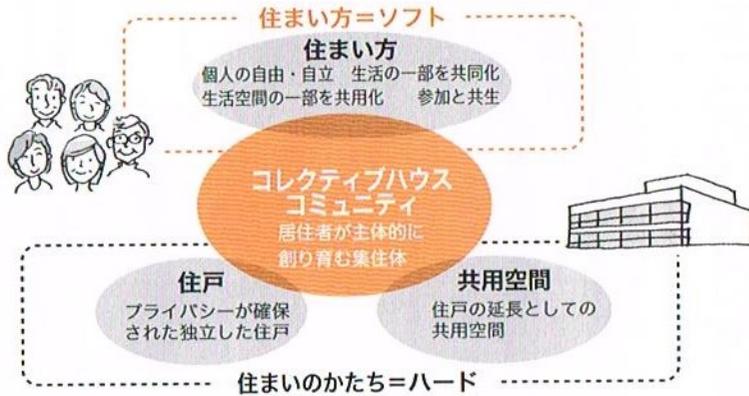
始まって10年。「ここまで拡大していくとは思っていませんでした。困っている親子は、全国にいるんだ

と感じています。まだ行き届かない地域にこそ、需要があると思うのです」と「わははネット」の中橋さんは話す。

神奈川県東部の三ツ境交通で、サービス開始当時から子育てタクシーの運転手を務める男性は、「始めたころは、どんなものかと冷やかな意見も多かった。それでも一人、二人と利用するお母さんたちが増えて、感謝される中で、乗務員の気持ちも変

わつていったと思います」。出産後には家まで送り届けた赤ちゃんがお姉ちゃんになり、また会えたというこども。「あの時の！」と驚きました。地域に根ざしているからこそです。

母親たちの、切実な思いから生まれつくれた新しいしくみ。「ぜひ、うちの町にも！」という声が、この取り組みをさらに充実させていくだろう。



自分の手で暮らしをつくる コレクティブハウス という住まい方

宮前真理子

(NPOコレクティブハウス)
(NPO共同代表/一級建築士)

暮らしの一部を「共有」することによって、多世代をゆるやかにつなぐ「コレクティブハウス」。少人数や一人世帯が増えていく、これからの時代の住まいとして、大きな可能性もっています。

住み手がつくりだす住まい

コレクティブハウス（CH）とは、各世帯が独立した住居と、キッチンや洗濯室、リビングなど共有の場所「コモンスペース」をもち、共同で運営する賃貸型の集合住宅です。現在、東京都内に4カ所あり、血縁によらず多世代がゆるやかにつながり、共に生きる暮らしをつくりだしています。

ひとつの大きな特徴は「コモンミール」。週1〜3回の夕食づくりの共同化です。全員が交代で当番となりますが、食べる食べないは自由。食事の後片づけや掃除、庭や菜園の水やり、戸締りなども当番制で、協力して自主管理します。

地域とつながる共同体であることも大切にして、コモンミールには知り合いの方が見えたり、コモンスペースを活かしてイベントを開くこ

とも。子育て中のお母さんが周囲のお母さんたちに声をかけて、気軽に子どもを遊ばせながら、おしゃべりや勉強会などもしています。

多様な価値観の人がいてこそ

住人からは、「共働きなので、帰ると夕食があるのは大助かり」「子どもが家族以外の人とふれ合えていい」「二人暮らしの不安がなくなつた」と言った声。高齢の方は「自然に子どもや若い人と話すので、生活にハリがある」と言われます。

もちろん、意見の違いもあります。掃除はどの程度までするか、洗濯室は何時まで使うかなど、月一回の定例会では気になることを話し合い、ルールを再検討して解決策を探しますが、めんどろと思われる面もありますが、多様な価値観をもつ人がいるからこそ、多くの可能性にも巡り合うことのできる暮らしです。

そもそもC日は女性の社会進出に伴い、1970年代に北欧で「家事や育児を分かち合い、負担を軽くする住まい」として普及。日本に紹介されたのは1990年頃からです。

子育てや共働きの家事の軽減、一人暮らしの孤立を防ぐなど、多様な人が安心して暮らせる住まい方に共鳴した、建築家を中心とするグループなどが研究活動をしてきました。いよいよ事業化を進めようと、2000年にNPOを設立しました。

私は大学卒業後、再開発事業を請け負う設計事務所に勤め、地元住民に関係なく行われる乱開発と、その後のバブル崩壊による街の衰退を目の当たりにしてきたので、そこに住む人が自分たちの手で、自分たちの暮らしをつくるコレクティブハウスに出会ったとき、「これだ!」と思つたのです。そして、ぜひ実現したいと設立に加わりました。

求める人たちをつなぐ

私たちNPOの役目は、事業の推進役として、「大家さん」と呼ぶ事業主や、人居希望者をつなぐことです。2003年に東京の日暮里に最初のハウスを完成させてから、建築の専門家とも協力しながらハウスを増やしてきました。

計画の段階から居住希望者が参加ワークショップを重ねて、どんな暮らしにしたいのかという希望や思いを共有し、それを設計者と一緒に形にしていけます。ハウスができてから、住む人が入れ替わっても、私たちが大家さんと居住者組合をつなぎ、協力して快適な暮らしを継続していきます。孤立が進むこの時代、関心をもつ人は多く、「居住希望者の会」には現在56人が登録、ともにハウスをつくる大家さんを探しています。30代のシングルの人居者が増えて

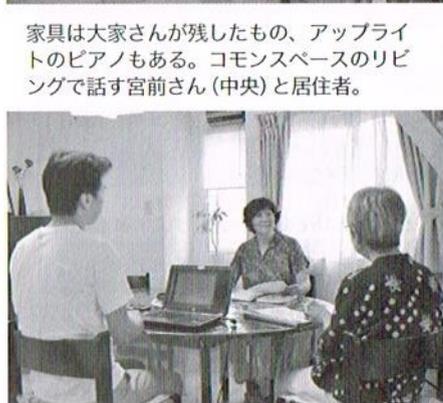
タウンコレクティブ エコダハウスの暮らし



閑静な住宅街に立つ2階家。夏にはノウゼンカズラのアーチが出迎える。



明るい居室のひとつ。右手にたっぷり収納スペースが。個室は3つあり、現在1室が入居者募集中。



家具は大家さんが残したもの、アップライトのピアノもある。コモンスペースのリビングで話す宮前さん(中央)と居住者。



広々としたキッチン、少人数の料理講習もできる。

賃貸コレクティブ事業での パートナーシップ

居住者は設計にも参加、
住んでからは居住者
組合の自主管理



運営の支援、経営の支援、
設計やしくみづくりの支援
広報活動など広く多くの人に
知らせる活動

NPO法人コレクティブハウジング社 (CHC)

〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5 アピタメジロ302

TEL: 03-5906-5340 Email: info@chc.or.jp http://www.chc.or.jp

*東京周辺で空家の社会的貢献を考えている方は、CHCにご連絡を

良質な住まい
手話し合い
つつ、望まれ
つつ、賃貸住宅を
つく

「ミール」や定例会をしてきました。これからいろいろなことを行いながら、地域の中にタウンコレクティブのしくみをつくっていききたいと思っています。

私たちは近年、タウンコレクティブ(TC)という提案をしています。コモンハウス(地域のコモンスペース)とし、一人暮らしの若者や高齢者だけでなく、子育てや介護を抱える家族をもゆるやかにつなぐ場として位

タウンコレクティブの試み

きたのは、予想外でした。この世代が、「この先も自分は一人なのか」「収入を維持できるだろうか」などの不安を募らせているのを感じます。人が安心してつなげられる環境をどうやってつくるかは、今後の社会の大きな課題。暮らしへの不安が募る現状に対して、コレクティブハウスという住まい方は、解決の糸口になり得る。大家さん候補となる方に、もっとこの住まい方を知らせて、多くの方と一緒にハウスを増やしていきたく願っています。

置づける。そして、コモンハウスの住み手と、地域に暮らす参加メンバーがコモンハウスを共同運営しつつ、地域コミュニティのネットワークを再構築しようという試みです。2002年から8年間、「松陰コモンズ」を運営。両親が亡くなった後に残された古民家を、家主とは血縁のない7人がシェアして住み、座敷を地域に開いて活用しました。また、10年には、一人暮らしの母親が使っていた二世帯住宅が空き、そこを熟年3人の住み手が借りて暮らす「菊名ミニコレクティブ」もスタート。周辺で高齢化が進む中、新住人は地域の若手メンバーとして町内会に加わり、大歓迎されました。13年の夏に始まったのが、練馬区の一戸建てを活用した「エコダハウス」(P117写真)。CHCの居住希望会員が参加メンバーになり、コモンスペースを使って「お試しコモン

《エコダハウス居住者の声》

Oさん(60代・女性・自営業)
コレクティブハウスに住みたいと思

って全て見学しましたが、広さや仕事場の交通の便などの点で、希望する部屋がありませんでした。そのとき、ここに空室が。共用部分が広々として、畳と土壁の部屋は呼吸している感じで、とても気持ちよかったです。ずっと一人暮らしだったので、シェアにためらいがあり迷っていたら、一緒に来た友人に「暮らしてみてもいいじゃない」と背中を押されて。その点、賃貸は気が楽ですね。友だちと集まって料理講習会をしたり、味噌づくりをしたり、餃子パーティーをしたり。共用部分の広い空間は、とても魅力的です。年をとっても自分らしく暮らしていくにはと考えたとき、共有する部分を持ちながら、自立して暮らせる、その距離感がいいなあと思います。庭は梅

が咲いたり、夏にはノウゼンカズラが。大家さんがときどき手入れにこられて、手づくりの梅干をお土産にくださったり、会話が広がります。

Iさん(50代・男性・自営業)

スガモフラットに5年住んでいました。スガモは二世帯で、子どもたちや赤ちゃんもいて、にぎやかでした。僕はコピーライターで、部屋で仕事をします。生活って年々変わってきましたね。それに伴いメンバーが入れ替わりますから、その中でどう暮らすかが、CHの面白さかな。

スガモフラットとはまた別の形の住まいでも暮らしてみたいと、ここに引越して来ました。ここも最初は20代のカップルがいたんです。いまは人数が少なくて部屋もそう汚れず、掃除当番が少なくてすむのは助かります。コミュニケーションの鍵は胃袋をつかむこと(笑)。共同生活の知恵です。台所道具などは完備していましたから、身一つで来られるのもいいですね。

東京都内4つのコレクティブハウス(CH)とTCエコダハウスの概要

CH かんかん森	スガモフラット	CH 聖蹟	CH 大泉学園	エコダハウス
完成 2003年6月	2007年2月	2009年4月	2010年7月	2013年7月
日暮里(荒川区)	巣鴨(豊島区)	聖蹟桜ヶ丘(多摩市)	大泉学園町(練馬区)	新江古田(練馬区)
延床面積 994㎡	508㎡	1100㎡	396㎡	158㎡
SRC造・12階建の2-3階(複合居住施設)	SRC造・14階建の2階(コンパクション)	RC造・地下1階、地上2階建(単独建物の新築)	S造・2階建(リノベーション)	木造2階建
28戸・大人35名程度+子ども	11戸・大人15名程度+子ども	20戸・大人26名程度+子ども	13戸・大人15名程度+子ども	1戸・大人3~4名程度
1R・1LDK・2LDK・シェアR	1R・2DK・シェアR	1R・2K(シェア)・1LDK・2LDK	1R・2DK・シェアR	シェアR
住戸 8.71~62.0㎡	10.8~54.0㎡	25~50㎡	12.5~30㎡	
家賃 4万5千~17万4千円	5万3千~14万5千円	6万~13万9千円	4万8千~7万5千円	6万5千~7万円